



## 佐藤会長あいさつ



町会連合会は、5月1日現在で加入町会が373町会・自治会となっております。私どもを取り巻く

地域社会は、少子・高齢化が一段と進み、その中で住民のニーズも複雑多様化しております。

このような状況の中で町会長は、地域のリーダーとして「交通安全・防犯」、「ごみの分別指導」や「環境美化」など多様なコミュニティ活動に取り組み、住民の安心・安全と支え合い、助け合いのある住みよい地域づくりに、多くのご苦労とご尽力をされていることに対し、心から敬意を表する次第であります。

本日は、長年にわたって町会長としてご活躍され、このたび退任された皆様と町会内で模範的な活動をされた町会員が栄えある表彰を受けられますが、受賞される皆様には、これまでのご功績とご苦労に心から敬意を表しますとともに、今後ともご健勝でご活躍くださることを願ってやみません。

非常に厳しい財政状況が続いておりますが、「町会活動の活性化支援」を基本方針に掲げて、皆様のご理解とご協力により、「安心・安全で

## 町会のための諸事業を推進

支え合い、助け合いのある住みよい地域づくり」を目指して諸事業に取り組んで参りました。

平成19年度においても、この方針のもとに「研修と情報提供の充実」及び「町会に共通する問題の関係機関への働きかけ」などに重点を置いて取り組むほか、新たに各町会が行っている多種多様なコミュニティ活動の実態を調査し、取りまとめた結果を各町会に情報提供して参りたいと考えております。

しかし、財政環境が厳しい状況にありますので、3月に取りまとめられた「組織及び運営のあり方検討委員会」の検討結果を踏まえ、組織と収入・支出の見直しを進めることとしたところであります。

皆様のご理解とご協力をいただきながら、厳しい財政状況を乗り切って参りたいと考えている次第であります。各事業部会活動を中心に「町会活動の活性化を支援するため」の諸事業に取り組み、町会連合会の使命と責務を果たす決意であります。

浪岡町内会連合会との統合については、浪岡側の動きを見極めつつも、統合への環境づくりに努めて参ります。

皆様の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。ごぞいます。

また、新たに「町会のコミュニティ活動を調査し、各町会に情報提供し、町会活動を支援する。

### (1) 研修の充実

- ① 町会長研修（新任・特別研修・地域協議会ごとの研修）
- ② 理事・部会員の役員研修
- ③ 部会ごとに行う町会の事務担当者研修

### (2) 情報提供の充実

- ① 町連だよりの発行及び町会広報紙の閲覧拡充
- ② 研修内容を冊子化し、町会長へ配布
- ③ 調査結果を取りまとめ、町会長へ配布など

### (3) 安心・安全な住みよい環境づくりの推進

- ① 街路灯の設置・修理の促進及び道路舗装、側溝整備促進の働きかけ
- ② 除排雪請負業者の指導強化の働きかけ
- ③ 交通安全施設整備の町会要望の働きかけ



事業計画を説明する役員

- ④ アパート等入居世帯のごみ出し、町会加入、町会費徴収に関し、関係機関への働きかけ  
研修会や市政懇談会などを開催

【総務部会】他部会との連絡調整を図り、町会長、所管事業に係る町会の事務担当者研修会など各種研修会及び市政懇談会等を開催し、町会活動に必要な情報提供に努める。

(3面へ続く)

## おめでとうございます

### 退任町会長と優良町会員を表彰

市町会連合会は、表彰規程に基づき19年度定時総会で町会長を退任した27人と優良町会員167人を表彰しました。(敬称略)



表彰を受ける退任町会長

▽20年以上勤続して退任＝加藤庄三(茶屋町南) 齋藤榮三郎(瀬戸子)内山清八(勝田中央)白鳥邦武(けやき)佐々木眞一(伝馬町)山本基(西上古川)

▽5年以上20年未満勤続して退任＝張間輝男(あかしや)中川勝(ハツ橋ニュータウン)故・川村彰一(荒川四区)故・清藤長次郎(四ツ石)石川時栄(三本木)江口祥一(西門町)佐々木庸逸(港町)相馬善信(南柳町)狭間昭治(合浦)故・柴谷宏(稲元)

また、地区連合町会活動の活性化支援及び他団体との交流のほか、関係機関(団体)と連携・協力し、青少年の健全育成に努める。

#### 除排雪など町会要望を働きかけ

**【建設部会】**街路灯、道路舗装、側溝整備及び除排雪等の町会要望を市及び関係機関に働きかける。

また、自主防災組織化の推進を市と連携・協力するとともにコミュニティ活動の活性化に向けて取り組み状況を調査し、各町会への情報提供とアパート等入居者のごみ出しと町会加入、町会費徴収に関し、関係団体に協力を要請し、安心・安全な住みよい地域の振興支援に努める。

#### 意識向上へパレードなどを実施

**【交通安全防犯部会】**市民の交通安全・防犯意識を高めることを目的に「のぼり旗」の斡旋配布及び決起大会・パレードを実施する。

また、路上放置駐車追放の呼びかけとロードミラー、信号機などの交通安全施設整備の町会要望を取りまとめ、市及び関係機関へ働きかけ、安心・安全な地域づくりに努める。

#### マイバッグ持参運動も呼びかけ

**【環境衛生部会】**ごみ出しのルール順守及びマナー

和田行夫(泉川)三橋文吉(幸畑団地西)秋元逸雄(蛸貝)藤本則衛(柳町)加藤昭一(緑町)熊谷貢(東蛸ヶ丘)岩谷進(西本町)及川隆視(富田)前田昭(西富)故・佐々木勝美(大野山下)葛西寛治(油川あけぼの)

▽優良町会員＝長尾忠良(久栗坂)ほか166人

### のぼり旗など希望町会に配布

市町会連合会は、交通安全と防犯意識を高めるため、のぼり旗を製作し、町会の希望を地区連合町会で取りまとめ、交通安全旗900枚、防犯旗500枚、ポール846本を一括発注し、3月28日と29日に地区連合町会に有償配布しました。

### 交通事故防止で2団体が受賞

平成18年度の青森市交通事故防止市民大会が1月12日(金)文化会館で開かれ、交通事故防止に貢献した個人と団体が表彰されました。

町会連合会関係では次の2団体が受賞しました。

- ・南部第4区連合町会
- ・南部第5区連合町会

アップ、ごみ減量化のため、ごみの分別の徹底、マイバッグ持参運動を市及びごみ問題対策市民会議と連携し呼びかける。

また、環境美化を推進するため、花壇やプランターなどの設置及び町会内の一掃き運動を呼びかけし、住みよい地域環境づくりに努める。

#### 市などの健康づくり事業に協力

**【福祉部会】**社会福祉協議会及び民生委員・児童委員協議会との連携・協力を図るため、引き続き情報交換を行う。

また、市等の健康づくり事業への協力及び冠婚葬祭合理化(簡素化)運動は、やれるものへの協力を呼びかける。

#### 町会の女性部組織づくりを促進

**【女性部会】**環境衛生部会及び福祉部会に協力し、環境美化とマイバッグ持参運動、健康診査受診を呼びかける。

また、町会長と連携し、町会女性部組織の結成促進及び町内女性の集いを開催し、女性部員との連携を強め、町会活動の円滑な推進と女性部活動の支援に努める。

## 組織及び運営のあり方検討委

## あるべき方向示し、全町会長に報告

市町連が厳しい財政状況にあることや町会長からの意見・要望等を踏まえて、今後の市町連のあるべき方向性を検討するため、昨年6月に設置した「組織及び運営のあり方検討委員会」は、8回の審議を経て3月28日に意見集約を終え、全町会長に結果を報告しました。

## &lt;概要&gt;

## あるべき方向性で見直すべき内容

## (1) 組織について

簡素な組織で十分機能し得る体制を望ましい姿とし、機能面で支障が出ない限度で効率的な組織に次の方向で見直すべきである。



今後の市町連について話し合う検討委員会

- ① 市町連の役員（会長、副会長、常任理事）は、すべて地区連合町会選出の理事からとする。
- ② 理事の定数は、地区連合町会ごとに15町会まで1名、15町会を超える場合は2名とする。
- ③ 会長を除くすべての理事は、いずれかの部会に所属させる。
- ④ 事務局長は役員とする根拠に乏しいので役員から除く。
- ⑤ 部会構成は、部会の事業量を勘案し、各部会現行11名から総務部会と交通安全防犯部会は

各9名、その他の4部会は各8名とする。

- ⑥ 女性部会の副部会長は2名から1名とする。
- ⑦ 部会の名称は、総務部会、福祉部会、女性部会は現行のままとし、建設部会を地域振興部会、交通安全防犯部会を交通・防犯部会、環境衛生部会を環境部会とする。

## (2) 事業運営について

マンネリ化を避け、創意工夫により経費の節減を図るなどの内部の自助努力をし、財源確保と厳しい財政状況を乗り切るため、次の方向で見直しし、町会の理解と協力を得るようにすべきである。

## &lt;一般会計の収入&gt;

- ① 削減が続く市からの交付金は、実情を訴え増額の働きかけをする。
- ② 市以外の団体からの回覧依頼は原則として取り扱わないこととし、客観的な判断から取り扱う場合は、当該団体から1回につき1万円を徴収する。
- ③ 「のぼり旗」等の斡旋物品は、事務処理手数料として1枚または1個につき20円、宛名ラベルは1枚につき40円徴収する。

## &lt;一般会計の支出&gt;

- ① 市内での会議等開催時の出席日当は廃止する。
- ② 会議は緊急の場合を除き開催回数を減らす。
- ③ 交通安全パレードの市町連からの奨励金は、交付基準を300人未満は7,500円、300人以上は15,000円とする。
- ④ 町会助成金は、小規模町会に配慮しながら、1世帯につき10円とする。
- ⑤ 地区連合町会助成金は、1町会につき2,000円とする。

## &lt;物品斡旋事業特別会計の収入&gt;

回覧板、紙ひもの斡旋は、事務処理手数料として1枚または1個につき10%程度上乗せして販売する。

## ○見直すべき内容の実施時期

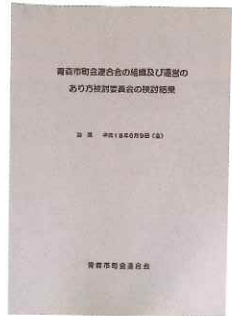
- (1) 組織について  
平成20年度とする。
- (2) 事業運営について  
予算との関連から平成19年度とする。

環境衛生  
部 会

### 町会の事務担当者研修会 ごみ分別で意見交換

環境衛生部会の研修と意見交換会は2月13日(火)、市教育研修センターで町会事務担当者を対象に開き、168人が参加しました。

研修は、小笠原龍朗青森市清掃管理課長が「資源ごみの集団回収について」をテーマに講演し、意見交換会では「ごみの分別とごみ出しマナーについて」をテーマに、大橋貞橋本町会長の事例発表もあって活発な意見交換が展開されました。





## 角灯籠ねぶたを製作 子供会育成狙い始める

当町会では、10年前から子供会や老人クラブと共同で「角灯籠ねぶた」を作っています。子供会を育成するのが狙いで、これには子供も大人も喜んで参加します。

子供の人数が減っているので大変ですが、それでも毎年、子供と大人がそれぞれ15人ぐらいずつ参加し、子供が漫画の下絵を描き、大人が墨を引き蠟を塗ります。

荒川三区町会

昨年は7月9日に荒川集会所で子供たちが色を塗り、次の日曜日に町会長の車庫で紙張りを行いました。表面は子供の描いた漫画、裏面は大人の描いた武者絵です。毎年、新規と張り替えを合わせ80個ぐらい作り、7月31日に人形ねぶたを交え、笛、太鼓も賑やかに町内を運行します。8月11日から20日までお盆をはさんで、各自が角灯籠ねぶたに灯を入れて門口に立て、町会内を明るくします。

子供会の育成と親子三代の共同作業ができて、明るくて健康な子供たちに成長してくれることを願っています。



お  
あ  
ほ  
の  
自  
慢



## 子供会含め活動活発 “観音様”も盛り上げる

他町会と異なるのは、観音様をお祭りする観音堂、延命地蔵尊、秋田県大平山を本山とする三吉神社が町会集会所地内に安置され、これにまつわる祭典が執り行われることです。これが町会の結束、活動を大いに盛り上げていると思います。

町会活動としては、春と秋の町会内漁港周辺の清掃活動はじめ観音堂、三吉神社、地蔵

相馬町町会

尊の宵宮・本祭への手伝い、ドント焼きなどが上げられます。また、老人クラブは春と秋の日帰り旅行などのほか、町会活動への協力を行っています。

子供会の活動は、夏休みラジオ体操、そうま町こども祭りなどを行っていますが、こども祭りは駄菓子店、くじ引き、ビンゴゲームなどで賑わいます。昨年は焼きそば、けの汁(女性部)、ホタテの貝焼きを新メニューに加え、バザーの収益金の一部をパキスタンへの義援金にあてています。

今後の重点活動としては防災、防犯、青少年健全育成への取り組み強化を目指します。



## 頑張っています

### 活動に廃品回収益金も

昭和53年のねぶた運行後、より一層仲間意識を高め、町会の手足として活発に活動しようと組織しました。活動資金には町会助成金と毎月第2日曜日の廃品回収の益金を充てています。

発足以来30年近くなり、多くの行事を行ってきましたが、諸般の事情から活動を縮小せざるを得ない状況にあります。それでも 昨年度は、金魚ねぶた作り講習会、教養講座、ねぶた灯籠作り、ドント焼き、町内親睦会開催、町会にある事代主神社宵宮・大祭の手伝いなどの活

蜷貝町会青年部



廃品回収を行う青年部員

動をしています。

これからも継続して活動していくためには、より多くの町民が参加できるような行事の開催と部員を1人でも多く増やすことだと考えております。

### コミュニティ活性化事業

## 124町会が補助金活用

### 市町連、多くの利用期待

平成18年度に市の「地域コミュニティ活性化事業補助金」を利用し、コミュニティ事業を実施した町会は、延べ124町会（92件）で次のような事業が実施されました。



児童の登下校をサポートする佃小学区民

- ・健康づくり等の推進活動（スポーツ大会・レクリエーション等） 74町会（42件）
- ・地域の良好な環境づくり推進活動（緑化普及等） 22町会（22件）
- ・省資源や省エネルギー推進活動（リサイクル） 15町会（15件）
- ・自然保護・環境美化推進活動（自然保護・清掃等） 6町会（6件）
- ・防災活動 4町会（4件）
- ・交通安全・防犯活動 2町会（2件）

- ・地域のイメージ向上等の活動（蛍の里づくり等） 1町会（1件）

また、市の補助制度のほかに、財団法人自治総合センターで行っている「コミュニティ助成事業」（1件100万円以上250万円まで10万円単位で全額助成）の補助金を利用して、ごみ収集場所にクリーンボックス等を整備した町会は11町会ありました。

いずれの補助制度も市の市民文化部市民協働推進課が窓口になっていますのでご相談ください。市町連としても多くの町会が補助制度を活用されることを期待しています。

## 哀 悼 録

油川横町町会長（町会連合会副会長）

池田 誠 吉 殿

（平成19年3月26日ご逝去）

慎んで哀悼の意を表します。

## ● 編 集 後 記 ●

19年度の事業計画・予算案が、定時総会で満場一致で承認されました。財政環境が極めて厳しい中、いかに効率的な事業活動を行い得るかが大きな課題といえます。

その点「組織及び運営のあり方検討委員会」の検討内容を、計画に反映したことは今後の活動に大いに寄与するものと期待しております。